

## クラブ・ポリシー

### 1. 挨拶

挨拶は「させられるもの」ではなく、「自分からするもの」

- 立って（作業中であっても手をとめて）
- 相手の正面に（相手の目を見て）
- 大きな声ではっきりと（相手に伝わるように）
- 誰に対しても（全教職員、外部の方、近隣住民の方）

### 2. 身だしなみ

常に身だしなみを整える。制服や練習着は、誰が見ても「きちんとしている」状態

学校で許可されている服装も、外部から（一般的に）どのように思われるかを考える。

### 3. 他の部に迷惑をかけない

すべての部活動が、お互いを慮りながら活動することが大切

ボールが飛んでいかないよう、全員が意識する。

もし、飛んでいった場合、素早く取りにいき、「ありがとうございます」と大きな声で言う。

（飛んで行く進路の人に、「危ないです」。到着後「ありがとうございます」とすぐに言えるように）

### 4. 物を大切にす

学校・OB等がお金を出して買ってくれているものを粗末に扱う人は、部活動をやる資格がありません

毎回、使用した用具（ボール・マーカ等）の数を確認する。

また、空気圧や汚損の確認も行い、用具の最適な管理を心がける。

### 5. 整理整頓

自分の荷物やチームで管理しているものは「美しく」整理整頓

自分の荷物だからといって雑に置かない。周りは和泉高校サッカー部の荷物としてみている。

靴の口を閉める、靴や靴等の向きを揃える、着衣を畳む。整理整頓の基準は、「美しい」か、どうか。

### 6. あらゆる場面で整える

習慣・価値基準を高い位置に

自分の習慣・価値基準を、今よりも高い位置に持つ。今の意識が「正解」とは限らない。

使った場所は掃除をする。スリッパや靴が散乱していたら並べる（自分のもの以外も）。

部室（更衣室）も常に清潔な状態にしておく。

整地は隙間なくかける。（なぜ、整地をするのかを考える：学校のため、自分・チームのプレーのため）

レーキ（トンボ）は美しく並べる。

自分がしたわけではないことでも、自分が整える。誰かのために何かができることが大切。

はじめはしんどいことではあるが、これを習慣・当たり前できるようにしてしまう。

個人が、意識して行い、無意識にできるようになれば、サッカー部の習慣となり、みなさんの環境・サッカー部の環境は変わる。それはサッカーのレベルアップにも人としての成長にも必ずつながる！

### 7. 礼儀

先輩、先生方、目上の方に、敬意をもって接する

丁寧な言葉づかい（敬語）、丁寧な行動ができるように。

ポケットに手を入れない。（学校生活、部活動ともに）

また、会場を提供してもらったのであれば、片づけを相手チームよりも先に行う（片づけ方を聞き、行動する）。

## 8. 保護者・先輩・学校・近隣の方々に感謝の気持ちを持つ

### 好きなサッカーができるのはどうしてか、を考える

勉強は最高の贅沢。ましてや、部活動はそれ以上の贅沢。

学校に通うことができ、勉強やサッカーができるのは保護者の理解と協力があるから。

また、歴代の先輩が積み重ねてきた歴史がサッカー部を成り立たせてくれる。

グラウンド、ボール等の用具は学校が提供してくれている。この事実を決して忘れず行動する。

## 9. 学校生活を第一に

### 学校生活（学習・行事・生徒指導等）が最優先

部活動は学校生活の中で自主的に行うもの。そのため、学校生活を疎かにする人は、部活動をやる資格はない。

文武両道の真の意味は、「文」を優先させ、その後に「武」がくることです。

学校からの「準備・片付け」等の要請には、積極的に協力する。学校への感謝を行動でお返しをする。

以上のことを意識して行動し、その上でサッカーの技術向上をはかる。

試合に勝つことだけを考えていては、人としての成長もチームとしてのレベルアップもできない。

日常の指示が通らなければ、試合での指示も通らない。

自分の好きなことを批判の材料にされないように。周りから応援される集団になる。

\*\*\*\*\*

### チームコンセプト（練習について）

■試合中・練習中は、サッカーのこと、チームのことしか考えない。

■練習中、休憩以外は座らない。やること・できることは必ずあるので見つけて行動する。

■顧問からの指示に対して、「返事」「伝達」をする。理解のない返事は何の意味がない。

■常に自分で考えてプレーをする。

基本的なやるべきことは決まっているが、その中で自分のやるべきこと(プレーの中で)を見つけて動く。

基本があってこそ、発展・応用がある。

■全体練習は「チーム練習」。個人の技術向上は、全体練習以外の時間もしくは隙間時間で行う。

■攻撃時の優先順位：①シュート ②ドリブル ③パス（ドリブルとパスは状況により優先順位が変わる）

ボールを受ける前にゴールの位置、相手のGKやDFの位置を確認しシュートが打てるかを判断。シュートを打ってもブロックされる確率が高い場合やシュートが打てる体勢でない場合は、積極的にドリブルを仕掛ける。

（■サイド攻撃：くさび、おとし、両サイドの裏の共通認識をする。）

■トラップ：方向、遠い足、事前の状況把握、位置を常に考える。

■フォワードがボールを持っている時、ディフェンスラインができることは山ほどある。

■右サイドにボールがある時、左サイドのプレーヤーにできることは山ほどある。（逆も然り）

■プレーの選択肢を常に3つ持ち、最適な1つを選択し続ける。

■ミスには、「技術のミス」と「判断のミス」がある。判断のミスはしてはならない。技術のミスは、個人練習で改善。

■自分の動きしか考えない人にチームは動かせない。最終目標はチーム全体のレベルアップ、勝利。

■プレー中の思ったことは「その場で」チームメイトに伝える。間違っても意味がある。議論をする。

「言葉・声」で解決できることは多い。「感情」を伝えることはしてはいけない。感情はコントロールする。

■指示は「未来指示」。「過去指示」は、チーム、個人ともに前進しない。

■自分からボールが離れた時点（シュート・パス）で、次のプレーの準備をする。

■どんな練習内容でも、考え方やプレーのスピードの変化で、自分のレベルアップはできる。

■基礎練習、基本練習をおろそかにしない。すべてのプレーにおいて基礎ができていなければミスをする。

■空いている時間に何ができるか考えて行動する。行動させる。

「自ら学び、考え、判断し、行動する」